

第3回浜田山小学校運営協議会会議録

学校名	浜田山小学校
記録者	戸田高弘

開催日時	令和3年7月17日(月)10:30~11:30
開催場所	浜田山小学校 家庭科室
出席者(委員)	伊勢校長、関谷会長、吉田寛委員、安藤雅子委員、牧野委員 栃倉委員、戸田委員、奥山委員
出席者(学校)	越山副校長、教務主幹斉藤教諭
傍聴者人数	0人

会議内容(次第順)
【報告事項】 ①校長あいさつ ②委員長あいさつ ③委員の交代、追補等
【協議事項】 ①広報誌について ②桜の挿し木 ③がくぶりの説明 ④子供の荷物の重量増加について ⑤いじめについて ⑥先生方の体調 ⑦地域のイベントについて
主な意見
【報告事項】 ①感染予防に明け暮れた1学期でした。日々子供達の安全に神経を使い、なんとか終わったという感じ。今日は広報誌の内容をまとめていきたい。通学路点検を行なった。近藤前会長のまとめも参照。 ②子供達の夏休みの過ごし方が心配。遊びに行きづらい状況なのでストレスがたまったりなど。2学期は行事がたくさんあるので、感染も心配。 ③栃倉委員(豊多摩高校校長)、安藤清隆委員(浜田山町会長)、戸田委員(令和3年度浜田山小学校PTA会長)が加わりました

【協議事項】

①広報誌について

- ・9月ごろ発行ではどうか。新しい委員の紹介はしたほうがよい。
- ・CSの活動実績も載せる。CSが教育委員会に要望が出せる組織であることはアピールしてもよいのでは。
→通学路点検、バリアフリー、エレベーターなどは近藤前PTA会長のまとめと働きかけで教育委員会に要望を提出した。
このような実際の活動を実績として乗せてアピールし、そういう力のある組織であることを周知する。
- ・配布はがくぶりも併用して行う。
→やっぱり紙の現物があるとよいが、他のプリントに埋もれる可能性がけっこうある。そもそも保護者はあんまり見てないかも。
→情報の伝達と、モノとしての価値はある程度わけて考えたほうがよいのでは

②卒業生が桜を挿し木したのが育ってきており、このような卒業生が在校中から続く活動をしているのは周知すべき。

- 他にも、15年以上前の卒業生がヘラクレスオオカブトの飼育をしたりするので、小学校と卒業生、地域のつながりのアピールとしてよさそうなので広報誌に乗せてもよいのでは。
→CSの情報や、保護者からの要望を吸い上げるのはPTA経由がよいのでは。がくぶり使うと多少楽。

③戸田会長よりがくぶり導入可決と、先生側への導入の要望。

- 越山副校長が登録。会議後、学校側は別のサービスを使う可能性が高いとのことで、がくぶりはPTA関連のみの方向性。

④タブレットが配布されたことで、子供のランドセルがかなり重くなっている。

- 学校にタブレットを置いておくとなると充電の問題がある。使用状況で減り方も違う。
- 学校に教科書を置いて帰宅する「置き勉」を推奨していく。
- デジタル化への移行期。これまでの概念を変えて対応していくしかない。
置き勉などでやりくりしながら、荷物になるべく軽くなるように検討していく。

⑤いじめ報告が過去最高を記録した。

- 今のところ浜小では、重大ないじめ問題は確認できていない。
- 6年生が自主的に朝の挨拶を行っており、こういう活動を学校が評価推奨していくことで、健全な空気ができ、クラス、学校にも良い影響が出ていくと思う

⑥子供達の心配はもちろんだが、先生方も慣れない対応を長期にわたり強いられているため、体調が心配。

⑦お祭り関係は大体中止。神事は例年通り行う。

次回の会議日程

日時	令和 3年 9月11日(土)10時30分～
会場	浜田山小学校